

肺癌登録第5次事業(2004年の外科治療症例)の研究成果の紹介

第5次事業(2004年の手術症例)からの研究論文

1. Surgical outcome of stage IIIA- cN2/pN2 non-small-cell lung cancer patients in Japanese lung cancer registry study in 2004. J Thorac Oncol. 2012; 7: 850-5.
2. Modern surgical results of lung cancer involving neighboring structures: a retrospective analysis of 531 pT3 cases in a Japanese Lung Cancer Registry Study. J Thorac Cardiovasc Surg. 2012; 144: 431-7.
3. Visceral pleural invasion classification in non-small-cell lung cancer in the 7th edition of the tumor, node, metastasis classification for lung cancer: validation analysis based on a large-scale nationwide database. J Thorac Oncol. 2013; 8: 606-11.
4. Results of T4 surgical cases in the Japanese Lung Cancer Registry Study: should mediastinal fat tissue invasion really be included in the T4 category? J Thorac Oncol. 2013; 8: 759-65.
5. Differences in the prognosis of resected lung adenocarcinoma according to the histological subtype: a retrospective analysis of Japanese lung cancer registry data. Eur J Cardiothorac Surg. 2014; 45: 100-7.
6. Clinicopathological characteristics and surgical results of lung cancer patients aged up to 50 years: The Japanese Lung Cancer Registry Study 2004. Lung Cancer. 2014; 83: 246-251.
7. Surgery for small cell lung cancer: a retrospective analysis of 243 patients from Japanese Lung Cancer Registry in 2004. J Thorac Oncol. 2014; 9: 1140-5.
8. Prognostic value of intraoperative pleural lavage cytology for non-small cell lung cancer. J Thorac Cardiovasc Surg. 2014; 148: 2659-64.
9. Surgical intervention for non-small cell lung cancer patients with pleural carcinomatosis: results from the Japanese Lung Cancer Registry in 2004. J Thorac Oncol. 2015; 10: 1076-82.
10. Lobe-specific nodal dissection for clinical stage I-II non-small cell lung cancer: Japanese multi-institutional retrospective study using a propensity score analysis. J Thorac Oncol. 2016.

臨床研究論文作成の方法

原則:

- 報告書(主論文):事務局、副論文:自由応募(随時受付)
- 登録データは:統計専門家(委託)により管理・解析

審査方法

1. 応募審査:テーマの妥当性と解析の可能性を評価
2. 英文抄録審査(大まかな解析を行い、要約を作成):論文化の可否を審査
3. 初稿審査:委員長および委員2名による審査一本審査のための修正の指示
4. 本審査:修正原稿を委員全員(10名)による投稿の可否の審査・修正の指示
5. 全員一致を持って投稿許可

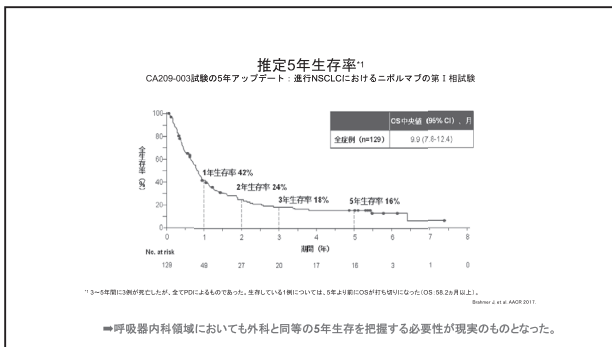
非常に多数例の登録があるにもかかわらず、臨床研究の「敷居」を高く設定しているため、多くの登録者から臨床研究の機会を奪っている可能性も指摘されている。

今後、本データの利活用の自由度を挙げるとともに、参画学会・研究会自体が主導する臨床研究を推進していくことも必要かと考える

胸腔洗浄細胞診の解析

- NSCLC 患者11,073 例中、4,171 (37.3%) で施行
- 217例 (5.2%) で細胞診陽性

Histological type	PLC (+)	PLC (-)	<0.0001
Adenocarcinoma	193	2784	
Squamous cell carcinoma	19	862	
Others	5	308	



32

今後の肺癌登録とNCDとの交通整理について

肺がん登録の現状(呼吸器外科学会内資料)

日本で稼働している登録システム

- 1 全国・地域がん登録
 - 5大がんを中心に、がん拠点病院における院内登録を、拠点病院が集計し、さらに国立がん研究センターで全国集計している。
 - 各年のがん種別・性別・年齢別の罹患率、生存率を公表している。
 - 財源は国の交付金
- 2 全国肺癌登録合同委員会(任意団体)
 - 数年前に外科症例、内科症例を集積し、予後因子等を研究している
 - 国際的データベースと連携してNCD等に連携している
 - 財源は関連学会1研究費
- 3 NCD (法人)
 - 外科症例はほぼ全体を網羅している
 - 専門医制度とリンクして、外科医の稼働症例数を担保している
 - 安全性に関する研究が可能だが、長期予後を再入力することによって、研究の進展が停滞
 - 稼働コストは財源は全国の病院、研究は主体となる学会
- 4 日本肺癌学会(法人)
 - 個々の病院と関連した登録事業を検討中
 - 財源は学会+α

呼吸器外科学会内で予後情報に関する位置付けが変化しつつある。

肺がん登録事業の課題と展望 (呼吸器外科学会内資料)

課題

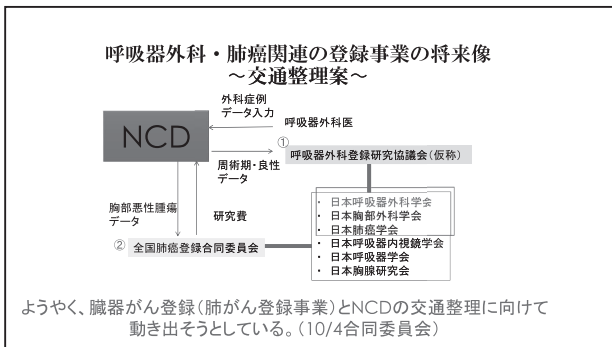
肺癌患者の長期管理、予後を集積する安定したシステムはない

外科症例に関しては、NCDを元に長期予後を再調査していく研究を通じて、発展させていくのも一案であろう

全国的な内科症例の登録は、全国・地域がん登録でなされているが、がん専門病院のみに限られており、詳細な情報は入力されていない

内科症例をNCDに登録するようなシステム(例えば専門医・認定医制度に関連させるなど)の構築も一案であろう(次ページ図参照)。

呼吸器内科領域に関しては、読みが浅い?



平成29年度厚生労働科学研究費補助金 がん対策推進総合研究事業
「全国がん登録と連携した臓器がん登録による大規模コホート研究の推進及び
高質診療データベースのためのNCD長期事後入力システムの構築に関する研究(平田班) 2017.8.22

胃癌登録のNCDへの実装について

分担研究者
日本胃癌学会胃癌登録委員会委員長
日本消化器外科学会データベース委員会委員長
神戸大学大学院外科学講座食道胃腸外科学分野
掛地 吉弘

厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare
臨床効果データベース整備事業
一般社団法人 National Clinical Database 岩中 督

本事業は、日本癌治療学会および日本胃癌学会、日本泌尿器科学会と一般社団法人National Clinical Database(以下、NCD)の連携により、癌症例の実態把握と癌治療の質向上への取り組みとなる臓器別癌登録データベース基盤の構築を行うものである。今年度の事業では、国内におけるがん罹患数および死亡数が多い胃癌および泌尿器科(胃癌、前立腺癌)における癌登録データベースの構築を進める。

緒言

日本胃癌学会Home pageより

データベースに重要なことは情報量が多く精度が高いことであり、データ入力、統計解析など、一連の作業が効率よく連動して行えることが望ましい。大規模な胃癌データベースが必要であることには先生方も異論がないと思われる。

全国がん登録調査の結果をまとめた報告書は「全国がん登録調査報告」として、胃癌研究会により昭和47年に第1号が「昭和38年度症例、143施設、5780例」をまとめる内容で刊行されました。以後、定期的に刊行され、本邦における胃癌治療の現状を把握し、その診断・治療・予後などを検討することにより、胃癌患者の治療成績の向上をはかることを目的としていました。平成2年度症例のまとめを第50号として報告し、平成10年に第52号「昭和63年度症例の治療成績」を刊行して以来、しばらく全国がん登録調査の結果報告が種々の事情により滞っていました。しかし、諸先生方のご協力により、ようやく平成3年度(1991)症例の集計がSpecial articleとして「gastric cancer treated 1991 in Japan: data analysis of nationwide registry」としてGastric Cancer (2006) 9:51-66に掲載されました。

日本胃癌学会では、登録委員会8施設で平成12年(2000年)の胃癌登録を行い、新データベースの実用性や不備につき検証しました。その結果を受けて今年より、個人情報保護法に準拠しつつ、胃癌取り扱い規約第13版の記載に則る全国がん登録調査を平成13年(2001年)の症例より再開しました。連結可能匿名化としましたが、予後の追跡調査が困難な情勢にあることを考慮して、5年以上経過した症例を集積することにしました。

以下略

平成20年9月吉日
日本胃癌学会・登録委員会委員長
新潟県立がんセンター新潟病院外科 梨本篤



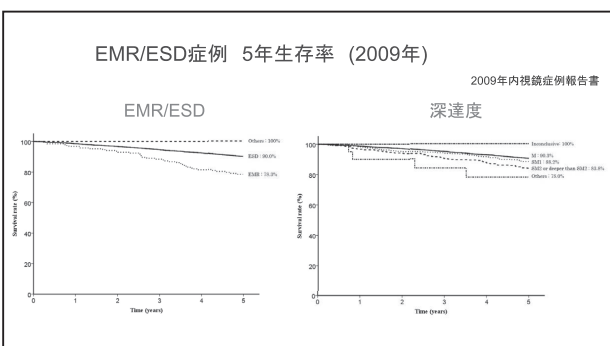
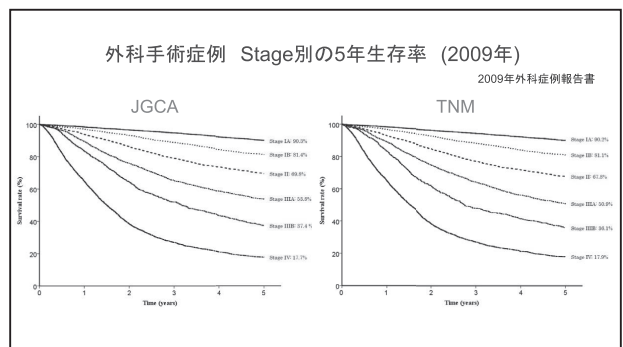
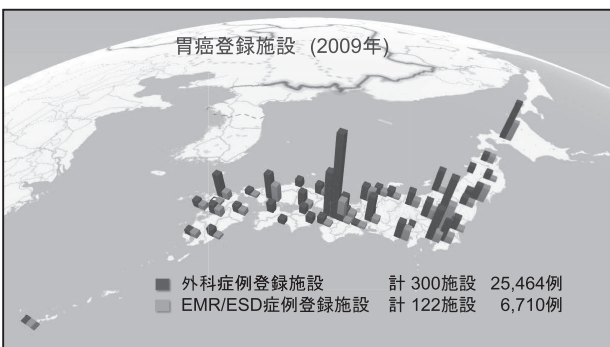
スケジュール

●2010年の登録対象

- 外科症例**
2010年(平成22年)1月1日から12月末日までの初発胃癌、初発胃癌(EMR/ESD後)、残胃癌、GIST、悪性リンパ腫、その他の悪性腫瘍、の手術症例、非手術症例
- EMR/ESD症例**
2010年(平成22年)1月1日から12月末日までの内視鏡切除が行われたすべての胃癌症例

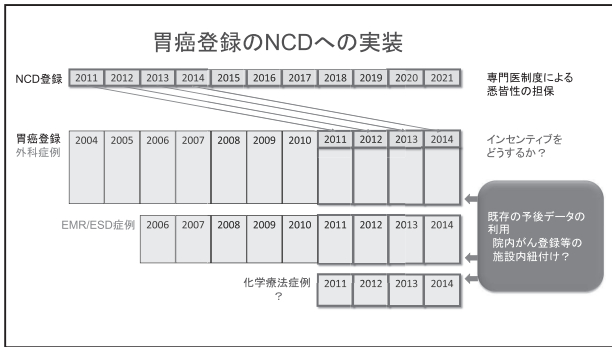
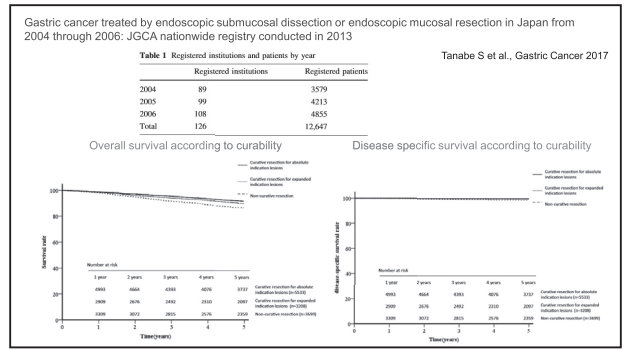
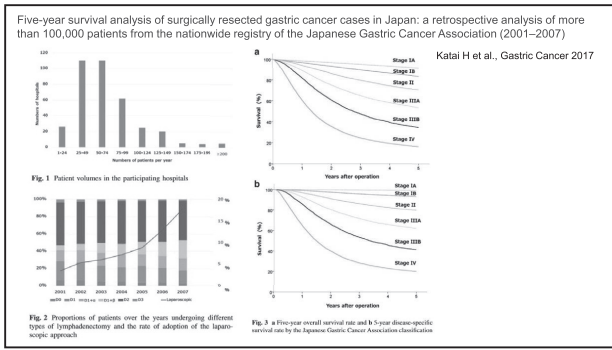
外科症例 74項目

EMR/ESD症例 45項目



胃癌登録と報告

年	邦文報告	英文報告
1963 (昭和38)	全国がん登録調査報告 第1号	
1990 (平成 2)	52号	
1991 (平成 3)		Gastric cancer treated 1991 in Japan
2001 (平成13)		Gastric cancer treatment in Japan
2002 (平成14)		Gastric cancer treated in 2002 in Japan
2003 (平成15)	外科症例報告書	Five-year survival analysis of surgically resected gastric cancer cases in Japan (2001-2007)
2005 (平成17)		
2006 (平成18)	外科症例・内視鏡症例報告書	Gastric cancer treated by endoscopic submucosal dissection or endoscopic mucosal resection in Japan from 2004 through 2006
2009 (平成21)		
2010 (平成22)	2010 (平成22)年の症例を現在登録中	



消化器外科データベース関連学会協議会

分担金の運用

学会	解析費	項目改訂	audit	問い合わせ	会議費	人材費
日本消化器外科学会	75.0%	75.0%	61.1%	63.3%	92.3%	79.2%
大腸癌研究会						
日本肝臓研究会						
肝臓内視鏡外科研究会						
胆膵内視鏡外科研究会						
日本肝移植研究会						
日本肝臓学会						
日本肝移植外科学会						
日本食道学会						
日本胃癌学会						
日本内視鏡外科学会						
日本腹部救急医学会						

資金投与 → NCD

常任の解析者の確保
迅速な解析
効率的なデータ活用
データの品質維持

NCDを活用した研究課題公募

National Clinical Databaseを利用した研究課題

年	日本外科学会	日本消化器外科学会	日本化学療法学会	日本がん治療学会	日本がん治療学会	日本がん治療学会	日本がん治療学会	日本がん治療学会
2013	• 胃癌手術に及ぼす影響	• NCD/NACS/NCDPへの実装効果	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響
2014	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響
2015	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響
2016	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響
2017	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響	• 胃癌手術に及ぼす影響

